

鼻咽頭用フロックスワブのPCR阻害試験

A 実験方法

2つのスワブがRT-qPCR阻害に及ぼす影響を比較する。
使用されているスワブは、Kanjgian社のスワブおよびTaizhou Sun Trine社のスワブである。

2種の動物コロナウイルス(PDEV)

スワブチップを切り取り、ウイルスPDEVに加え、37°Cで12時間置いた後、蛍光定量PCR検出にかける。

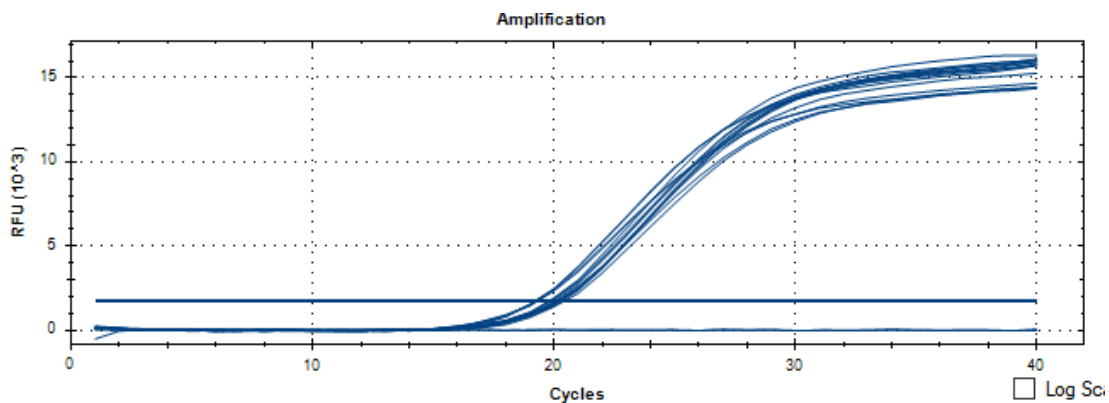
- a. Kanjgian社スワブ
- b. ポジティブコントロール
- c. Sun Trine社スワブ 1
- d. Sun Trine社スワブ 2
- e. Sun Trine社スワブ 3
- f. Sun Trine社スワブ 4
- g. Sun Trine社スワブ 5
- h. ネガティブコントロール

B 実験結果

蛍光定量CT値

CT値	Kanjgian社	ポジティブコントロール	Sun Trineスワブ1	Sun Trineスワブ2	Sun Trineスワブ3	Sun Trineスワブ4	Sun Trineスワブ5	ネガティブコントロール
反復1	19.74	19.98	20.09	19.78	20.21	19.16	19.17	N / A
反復2	20.16	19.82	20.27	20.06	20.37	19.23	19.27	N / A

蛍光定量PCR増幅曲線:



C 結論

ポジティブコントロールと比較して、スワブ試料の全群は±1の範囲でCT差比を有し、これは蛍光定量PCRを阻害しないことが分かった。